SAMPLE

RIM INTELLIGENCE CO.

フェアな価格　確かな信頼

ジャパン石油製品
Japan Products

お申し込み ＞

試読 ＞

☆RIM JAPAN PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY
★No.9294 Feb 28 2025
Copyright(C) 2025 RIM Intelligence Co. All rights reserved.
「リム価格」は登録商標です　登録番号・第5387777号
「4リム価格」は登録商標です　登録番号・第5660925号
「リムラック価格」は登録商標です　登録番号・第5660926号

◎お知らせ

○PRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2024年12月19日、証券監督者国際機構(IOSCO)により定められた石油価格報告機関(PRA)に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

＜対象レポート＞

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品(Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/

◎エネルギー通信2月号の発行と「立ち寄りセミナー(オンデマンド)」のお知らせ

リム情報開発は20日、エネルギーの「いま」をまとめて把握できる季刊誌『エネルギー通信』23号を発行しました。今号では、政府が2月18日に閣議決定した第7次エネルギー基本計画の内容を整理したうえ、日本が重視していくことが示されたクリーンエネルギーの最新動向をまとめました。エネルギー通信はWEBで閲覧いただくことができます。お申し込みはこちらから：　https://www.rim-intelligence.co.jp/report/nl/

また、エネルギー通信の内容を凝縮した「立ち寄りセミナー」を開催します。コロナ禍に始まった立ち寄りセミナーがオンデマンド形式で復活します。今号のポイントを整理しわかりやすく解説いたします。セミナーの詳細や視聴のお申込みはこちらから：

https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/seminar20250219/

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

28日のレックス22は、前日から0.27ポイント下落し166.04です。

----------リムレポートのご紹介----------

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。　https://www.rim-intelligence.co.jp/report/

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG　LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー(週刊)	CROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信
液体バイオ燃料(週刊)		

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411　E-mail info@rim-intelligence.co.jp

RIM INTELLIGENCE Japan Products
3F Yaesudori Hata Bldg, 1 Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel:81-3-3552-2411 Fax:81-3-3552-2415 e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

東京時間2025年2月28日金曜日17時<Assessment Closing Time>

◎国内石油製品海上バージスポット価格 (製油所・油槽所バージ取り・円/kl)

東京湾(京浜/千葉)	固定値	中値	前日比	市況連動	
ガソリン	+ 87,000～ 88,000 +	87,500	+1,000	-500/ +500	
灯油	+ 88,000～ 89,000 +	88,500	+500	-500/ +500	
軽油0.001%S	89,500～ 90,500	90,000	+0	-500/ +500	
A重油0.5%S	87,000～ 88,000	87,500	+0	-500/ +500	
A重油0.1%S	87,500～ 88,500	88,000	+0	-500/ +500	
C重油0.3%S	97,000～ 98,000	97,500	+0	-500/ +500	
C重油3.0%S	86,000～ 87,000	86,500	+0	-500/ +500	
船舶用0.5%S重油	97,000～ 98,000	97,500	+0		
船舶用3.0%S重油	86,000～ 87,000	86,500	+0		

西日本(阪神/大西)	固定値	中値	前日比	市況連動	
ガソリン	+ 87,000～ 88,000 +	87,500	+1,000	-500/ +500	
灯油	+ 88,000～ 89,000 +	88,500	+500	-500/ +500	
軽油0.001%S	89,500～ 90,500	90,000	+0	-500/ +500	
A重油0.5%S	87,000～ 88,000	87,500	+0	-500/ +500	
A重油0.1%S	87,500～ 88,500	88,000	+0	-500/ +500	
C重油0.3%S	97,000～ 98,000	97,500	+0	-500/ +500	
C重油3.0%S	86,000～ 87,000	86,500	+0	-500/ +500	
船舶用0.5%S重油	97,000～ 98,000	97,500	+0		
船舶用3.0%S重油	86,000～ 87,000	86,500	+0		

市況連動はリム月間平均値に対するプレミアム/ディスカウント　　前日比は固定値中値ベース
アセスメント対象となる受渡月が翌月に移行する当月26日(休日の場合には、直後の営業日)の「前日比」については「-」とする。

◎国内石油製品ペーパースワップ価格 (国内製油所バージ取り・円/kl)

	3月	4月	5月
ガソリン	+ 87,000～ 88,000 +	87,000～ 88,000	87,000～ 88,000
灯油	+ 88,000～ 89,000 +	89,000～ 90,000	89,000～ 90,000
軽油0.001%S	89,500～ 90,500	+ 91,300～ 92,300 +	+ 90,900～ 91,900 +
A重油0.5%S	87,000～ 88,000	- 85,900～ 86,900 -	- 85,100～ 86,100 -
A重油0.1%S	87,500～ 88,500	- 86,400～ 87,400 -	- 85,600～ 86,600 -
C重油0.3%S	97,000～ 98,000	- 95,900～ 96,900 -	- 95,100～ 96,100 -
C重油3.0%S	86,000～ 87,000	- 84,900～ 85,900 -	- 84,100～ 85,100 -

◎東京商品取引所石油先物・日中取引 (東京湾製油所・油槽所バージ取り・円/kl)

	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
ガソリン						
4月限	-	-	-	86,000	-	-
5月限	-	-	-	86,000	-	-
6月限	-	-	-	86,000	-	-
7月限	-	-	-	86,000	-	-
8月限	-	-	-	86,000	-	-
9月限	-	-	-	86,000	-	-
合計						-
灯油						
4月限	-	-	-	88,000	-	-
5月限	-	-	-	88,000	-	-
6月限	-	-	-	88,000	-	-
7月限	-	-	-	88,000	-	-
8月限	-	-	-	88,000	-	-
9月限	-	-	-	88,000	-	-
合計						-

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

RIM INTELLIGENCE Japan Products
3F Yaesudori Hata Bldg, 1 Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel:81-3-3552-2411 Fax:81-3-3552-2415 e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

軽油						
4月限	－	－	－	90,300	+300	－
5月限	－	－	－	89,900	+300	－
6月限	－	－	－	89,500	+300	－
7月限	－	－	－	89,100	+300	－
8月限	－	－	－	88,700	+300	－
9月限	－	－	－	88,200	+300	－
合計						－
原油						
2月限	75,040	75,040	74,450	74,450	+50	19
3月限	69,760	69,850	69,700	69,830	+1,050	88
4月限	68,840	68,840	68,730	68,730	+790	4
5月限	67,740	67,970	67,740	67,970	+960	31
6月限	67,270	67,350	66,690	67,080	+950	354
7月限	66,390	66,480	65,850	66,200	+920	1,247
合計						1,743
取組高(02/27)(売)：	ガソリン 0	灯油 0	軽油 0	原油 28,602		
取組高(02/27)(買)：	ガソリン 0	灯油 0	軽油 0	原油 28,602		
1枚＝50kl						

◎東京湾製油所出し陸上スポット価格 （千葉・川崎平均値 円/kl）					
ガソリン	85,575	+650	灯油	86,500	+1050
未課税軽油0.001%S	87,150	+850	A重油0.5%S	86,150	unch.
A重油0.1%S	86,650	unch.			

◎原油輸入平均CIF価格 （JCC 円/kl・財務省発表）					
24/12/01-31r	73,361	25/01/01-31r	75,728	25/02/01-28	3月19日発表予定
24/12/01-10	74,818	25/01/01-10	75,369	25/02/01-10	78,621
24/12/11-20	72,559	25/01/11-20	75,716	25/02/11-20	3月7日発表予定
24/12/21-31	72,978	25/01/21-31	75,987	25/02/21-28	3月19日発表予定
r＝修正値					

◎原油輸入平均CIF価格予想値（JCC 円/kl、RIM試算値）					
25/2月		25/3月		25/4月	
77,690	±0	74,780	+340	75,670	+620

◎MR船型の日本着輸入価格 （ナフサ・重油 ドル/トン その他 ドル/バレル）			
	スポット価格	プレミアム	円/kl
ナフサ	+ 669.50～ 670.00 +	10.00/ 11.00	70,638
ジェット/灯油	+ 88.65～ 88.75 +	0.70/ 0.80	87,208
軽油 0.001%S	+ 89.30～ 89.40 +	0.40/ 0.50	88,228
重油 0.3%S	+ 518.50～ 528.50 +	0.00/ 10.00	79,953*
重油 380cst 3.5%S	－ 473.25～ 474.25 －	8.00/ 9.00	72,644
*円ドル換算レート（TTS 円/ドル 2月28日現在） 150.67 *密度0.95*			

◎MR船型の日本積み輸出価格 （重油 ドル/トン その他 ドル/バレル）			
	スポット価格	プレミアム	円/kl
ガソリン 92RON	+ 84.10～ 84.30 +	1.15/ 1.35	82,068
ジェット/灯油	+ 87.45～ 87.55 +	-0.50/ -0.40	85,175
軽油 0.001%S	+ 87.80～ 87.90 +	-1.10/ -1.00	85,504
重油 380cst 3.5%S	－ 463.25～ 464.25 －	-2.00/ -1.00	70,474
*円ドル換算レート（TTM 円/ドル 2月28日現在） 149.67 *還付金の2,800円を含む*			

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

RIM INTELLIGENCE Japan Products
3F Yaesudori Hata Bldg, 1 Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel:81-3-3552-2411 Fax:81-3-3552-2415 e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

◎MR船型のシンガポール積み輸出価格 （重油 ドル/トン その他 ドル/バレル）		
	スポット価格	プレミアム
ナフサ	+ 70.70～ 70.80 +	0.15/ 0.25
ジェット/灯油	+ 88.85～ 88.95 +	0.90/ 1.00
軽油 0.001%S	+ 89.10～ 89.20 +	0.20/ 0.30
軽油 0.05%S	+ 87.90～ 88.00 +	-1.00/-0.90
重油 0.5%S	+ 516.00～ 526.00 +	-2.50/ 7.50
重油 180cst 3.5%S	- 479.00～ 480.00 -	9.00/10.00

◎MR船型のインドネシア積みLSWR価格		
	スポット価格	プレミアム
0.45%LSWR($/mt)	+ 403.50～ 413.50 +	-115.00/-105.00*
0.45%LSWR($/bbl)	+ 61.15～ 61.45 +	
*シンガポールペーパースワップ0.5%S重油に対するプレミアム		

◎シンガポール・ペーパースワップ （重油 ドル/トン・その他 ドル/バレル）			
	3月	4月	5月
ナフサ	+ 70.50～ 70.60 +	+ 69.75～ 69.85 +	+ 69.10～ 69.20 +
ジェット/灯油	+ 87.90～ 88.00 +	+ 87.10～ 87.20 +	+ 86.50～ 86.60 +
ジェット/軽油格差	-1.00/ -0.90	-1.20/ -1.10	-1.15/ -1.05
0.001%S軽油	+ 88.85～ 88.95 +	+ 88.25～ 88.35 +	+ 87.60～ 87.70 +
重油 0.5%S	+ 518.25～ 518.75 +	+ 517.25～ 517.75 +	+ 514.75～ 515.25 +
180cst 3.5%S重油	- 469.75～ 470.25 -	- 452.25～ 452.75 -	445.50～ 446.00
380cst 3.5%S重油	- 465.00～ 465.50 -	- 443.00～ 443.50 -	435.50～ 436.00

◎シンガポール精製マージン （対ドバイ原油・ドル/バレル）			
	3月	4月	5月
ナフサ	-3.51	-3.52	-3.42
ジェット/灯油	13.89	13.83	13.98
0.001%S軽油	14.84	14.98	15.08
重油 0.5%S	5.71	6.30	6.66
180cst 3.5%S重油	-1.75	-3.70	-3.99
380cst 3.5%S重油	-2.48	-5.13	-5.53

◎アジア・バンカー価格 （ドル/mt・届けベース）						
	380cst		VLSFO		LSMGO(日本のみLSMDO)	
東京湾	542.00-545.00	-2.00	572.00-575.00	+22.00	814.00- 824.00	-3.00
西日本	557.00-560.00	-2.00	597.00-600.00	+22.00	824.00- 834.00	-3.00
伊勢湾	552.00-555.00	-2.00	592.00-595.00	+22.00	814.00- 824.00	-3.00
韓国	492.00-495.00	-5.00	556.00-559.00	+9.00	660.00- 670.00	+12.00
シンガポール	485.00-488.00	-2.00	524.00-527.00	+7.00	648.00- 658.00	+6.00

◎韓国出しSR船型輸入採算価格(A重油を除き関税・石油石炭税込み 円/kl)								
荷揚げ地	ガソリン		灯油		軽油		LSA重油	
北海道	88,981	+1,094	93,842	+1,109	93,299	+1,107	85,958	+1,096
京浜	88,318	+1,092	93,179	+1,108	92,635	+1,105	85,294	+1,094
中京	88,033	+1,091	92,895	+1,107	92,351	+1,104	85,010	+1,093
関門	87,654	+1,090	92,515	+1,105	91,972	+1,103	84,631	+1,092

※SR船型による輸入、LSA重油は免税ベース、軽油は硫黄分10ppm
※輸入採算価格はリムアジア製品レポート掲載のシンガポール市況(ペーパー)の3月限をベース

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

○2月の海上スポット市況月間平均確定値、単位：円/kl

	京浜	前月比	西日本	前月比	東西平均	前月比
ガソリン	86,222	28	86,222	28	86,222	28
灯油	87,772	217	87,772	217	87,772	217
軽油	88,528	1,111	88,617	536	88,572	824
A重油0.5%S	86,333	1,061	86,333	1,061	86,333	1,061
A重油0.1%S	86,833	1,061	86,833	1,061	86,833	1,061
C重油0.3%S	96,250	861	96,250	861	96,250	861
C重油3.0%S	84,417	972	84,417	972	84,417	972
0.5%S重油＊	96,667	1,167	96,667	1,167	96,667	1,167
3.0%S重油＊	84,417	972	84,417	972	84,417	972

単位：円/kl　＊：船舶用

◎マーケットコメント

○元売り市中調達　トッパー停止数6基・計53万5,100b/d　停止率=17.2%

28日は元売りによる市中調達の動きは浮上しなかった。最大手元売りが灯油などに買い気を示している様子も伝わるが、具体的な成約は表面化せず。

○ガソリン京浜・前日比1,000円高の87,000～88,000円 西日本・前日比1,000円高の87,000～88,000

【概況】東西ともに前日比1,000円高の87,000～88,000円。陸上市況の上げを受け、売買気配値を切り上げる市場関係者が散見された。

【成約一覧】OTC市場では新規取引は浮上しなかった。

【JOX市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西		北海道	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値								
数量								
市況連動								
数量								

【東西】JOX、OTC市場は静かだった。一方、売買気配値は上伸。具体的な商談はないものの、手持ち玉を探る声掛けはあるようだ。

ENEOS堺製油所では、トッパー稼働は再開したものの、引き続き軽油の出荷規制は続いており、足元でも4日からの規制解除の連絡はないという。くわえてコスモ堺製油所でも二次装置に不調があるとの情報もあり、陸上プレーヤーからは瞬間的なタイト化への警戒感も聞かれた。麻里布製油所でも引き続きトッパー稼働は停止中。再稼働の見通しは立っていないようだ。このことから、西日本では需給が引き締まる材料が複数浮上している。

また東日本でも、川崎製油所、仙台製油所で不調があるようだとの声が寄せられた。

海上では天候が安定してきており、新たな出

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

荷規制は聞かれず。東西オイルターミナル(TOT)八代第二での出荷規制は、予定通りこの日解除されている。

市況連動商談は東西ともに月間平均レス500円～プラス500円となった。

【東商取】4月限は86,000円で日中取引を終えた。出来高はゼロ。原油3月限とのクラックスプレッドは16,170円だった。

○灯油　京浜・前日比500円高の88,000～89,000円 西日本・前日比500円高の88,000～89,000円

【概況】スポット市況は京浜、西日本ともに上昇した。2月中に在庫や月次枠消化を進めた業者が多く、3月品の売り気は限定的となっている。製油所では複数の装置不調が発生しているとあって、元売りの売り気配も限られているようだ。

市況連動商談は東西ともに月間平均レス500円～プラス500円。

【成約一覧】成約は表面化しなかった。

【JOX市場】午後2時30分時点の最高値、最安値の唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西		北海道	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値								
数量								
市況連動								
数量								

【東西】OTC市場における売り気は上昇。東西では89,000円までが寄せられた。3月商談入り後売り気は抑えられている。3月の気温上昇を見込み、2月中に在庫や手持ち玉の消化をあらかた進めた業者が多い。このため、「3月においては在庫が少なく、スポット市場で売り進める必要がない」(商社)との声も寄せられた。商社、ディーラーによる韓国積み北海道着SR船の輸入も、3月は数カーゴ程度にとどまる見通しだ。

また、このところ民族系最大手元売りを中心に装置不調が相次いでいるため、今後の供給引き締まりを想定する業者もいた。

一方、明確な買い気はJOX、OTC市場ともに表面化せず。民族系最大手元売りによる引き合いも浮上しなかった。同社は麻里布製油所(日量12万9,000バレル)をはじめ、多数の製油所で装置不具合を抱えている。しかし、灯油は間もなく需要期が終わるため、国内でまとまった量を確保するには至っていないという。海外積みについても新規に灯油やジェット燃料を調達した気配はなかった。

陸上スポット市場では3月商談がスタート。2月商談の売りが一服し、値上げする動きが散見された。東名阪4製油所出し商談の中心値は86,000円台へと上昇した。

一方、民族系最大手元売り基準価格は90,000円で推移しており、これを大きく割り込んだままとなっている。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

○軽油　京浜・前日と同じ89,500～90,500円　西日本・前日と同じ89,500～90,500円

【概況】東西ともに変わらず。最大手元売りの製油所トラブルなどで供給面の引き締まり感があるが、商談水準は今のところ変化している様子は見られない。各ディーラーが販売余力を有しており、買い気も乏しいとの声もある。

市況連動商談は東西ともに月間平均レス500円～プラス500円で推移している。

【成約一覧】成約は浮上しなかった。

【JOX市場】14時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西		北海道	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値								
数量								
市況連動								
数量								

【東西】OTC市場では、東西90,500円の売りアイデアが継続。JOX市場ともに買唱えは浮上しなかった。市場関係者からは、商社などの買い気は弱いとの意見が上がる。1月以降、慢性的に余剰感が発生しており、同業他社から玉を調達するプレーヤーは限られているようだ。「軽油の引き合いは本当にない」（広域系）との声もある。

一方、最大手元売りの製油所トラブルが相次ぐなか、地合いの強さを指摘する声もある。最大手元売りでは麻里布製油所が26日より火災のため停止。28日時点では稼働再開の見通しは立っていないようだ。この他、川崎や仙台製油所の不調も複数の市場関係者が指摘しており、供給の引き締まり感が強まっている。

既報のとおり、同社堺製油所は26日にはトッパーの稼働が再開。3月3日までかけられている軽油の出荷規制も、今のところ延長の連絡は入っていないようだ。出荷規制が初めて課せられた2月下旬よりも、制約が緩和されつつある、との声も上がる。ただ、二次装置が依然停止したままとの情報もあり、同製油所からの出荷に不透明感も拭えない。

【輸出入】財務省貿易統計速報によると、1月の軽油輸入量は前年比2.9倍の19万6,661klだった。最多は名古屋港の6万2,075kl。次いで下関港の5万7,813kl、今治港の5万5,407klとなった。

【官公需】第四管区海上保安本部が28日に開札した常滑港向け免税軽油73klの一般競争入札は、届け136,500円でセントレアGSEサービス、三河港向け20klは同123,900円で愛知海運産業が落札した。

一方、尾鷲港向け54klは同135,500円で正栄石油、浜島港向け48klは同117,200円でZen Tradingが落札している。納期は2025年度中。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

○A重油0.5%S京浜・前日と同じ87,000～88,000円 西日本・前日と同じ87,000～88,000円

【概況】東西ともに横ばい。月変わり直後の様子見ムードが強かった。市況連動商談は京浜、西日本ともに月間平均レス500～プラス500円となっている。

【JOX市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西		北海道	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値								
数量								
市況連動								
数量								

【東西】OTC市場では東西で88,000円のオファーが聞かれた。広域ディーラーの一角が現在の仕切り価格に準じた販価を寄せている。年度末を迎え月次枠消化を急ぎたいとの心理も伝わるが、3月渡し商談の開始から間もなく、固定値ベースで踏み込む売り手はいまのところ少なそうだ。同市場では87,000円の買唱えも点在。3月は2月にくらべ船舶向けの需要回復に期待を寄せる声がある。時節柄、2月と比較し海上の時化が緩和され「船も動きやすくなる」(卸業者)。

ただ、基本的に当用買いベースの引き合いが主体となりそう。とくに油槽所を保有するディーラーは、年度末の決算期を前に在庫圧縮を意識しがちだ。

【マーケットニュース関連】全国漁業協同組合連合会(全漁連)は3月前半の系統向けA重油価格を前期比で1,400円引き上げると通知した。

【官公需】第六管区海上保安本部が28日開札した広島県尾道地区内海造船向け2～3月納めA重油70klの競争入札は届け96,000円で鮴崎石油販売所が落札した。

○A重油0.1%S京浜・前日と同じ87,500～88,500円 西日本・前日と同じ87,500～88,500円

【概況】東西ともにもち合った。新規材料待ちで様子見姿勢のプレーヤーが多い。市況連動商談は京浜、西日本ともに月間平均レス500～プラス500円となっている。

【JOX市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西		北海道	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値								
数量								
市況連動								
数量								

【東西】東西ともにOTC市場では87,500円の買唱え、88,500円の売唱えが継続している。足元は

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発株に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

0.5%S品と合わせて月初めの様子見ムードも浸透。JOX市場における売買唱えはなく、市況は総じて前日並みで推移している。市中では4月渡し分の先高を展望する声もあるが、現時点で油槽所の溜め込み向けの買い気はいまひとつ。先高の根拠は主要元売りが4月以降、二次基地の出荷チャージを引き上げる予定であることと、4月の国内市況に影響する3月積み原油調整金の引き上げが先に決まっていることだ。しかし、年度末の決算期を控え在庫の積み増し意欲は高まりにくい。

また相場の先行きは燃料油補助金の政策変更次第で大幅にぶれる公算が大きいため、買い手も調達の決め手を欠く部分がある。新年度を前に市中では政府に対し補助金政策の方向性を早く明示して欲しいとの求めも改めて強まっている。

【官公需】海技教育機構が東京港の3月8日納めLSA重油の競争入札を28日開札で実施。練習船「海王丸」向け180klが届け89,300円、練習船「青雲丸」向け320klが同88,600円で落札された。落札業者はいずれもカメイ。

東京海洋大学が28日開札した東京湾に停泊予定の練習船「海鷹丸」、「神鷹丸」「汐路丸」向け3月31日納めLSA重油294klの競争入札は、前期比3,300円高の届け91,600円でカメイが落札。

また水産研究・教育機構が27日開札した八戸港向け3～5月納めLSA重油149klの競争入札は、同113,000円で北日本石油が落札している。

○C重油0.3%S 京浜・西日本ともに前日と同じ97,000～98,000円

【概況】東西ともにもち合い。JOX、OTC市場ともに目立った動きがみられなかった。

【税込み輸入採算価格】日本着MR船型の硫黄分0.3%重油は前日比989円高の79,953円。

○C重油3.0%S 京浜・西日本ともに前日と同じ86,000～87,000円

【概況】東西ともに変わらず。JOX、OTC市場ともに目立った動きがみられなかった。

○0.5%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ97,000～98,000円

【概況】東西ともに横ばい。需要がフェリー、RO-RO船に限られており、そのほとんどが長期契約で賄われるためスポット市場での動きはみられない。なお、現時点では新たなA重油への燃料転換の動きはみられないという。

○3.0%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ86,000～87,000円

【概況】東西ともに横ばい。JOX、OTC市場ともに目立った動きがみられなかった。

【ボンドバンカー市況の内貨ネットバック価格】京浜の180cstベースで前日比62円安の80,102円。

【硫黄分3.5%品のカーゴ輸出価格】前日比315円安の70,474円。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発株に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

○スワップ取引・東商取概況

【スワップ取引当限】ガソリンは前日から1,000円高の87,000～88,000円、灯油は同500円高の88,000～89,000円、軽油は同横ばいの89,500～90,500円、A重油0.5%Sは同横ばいの87,000～88,000円、A重油0.1%Sは同横ばいの87,500～88,500円、C重油0.3%Sは同横ばいの97,000～98,000円、C重油3.0%Sは同横ばいの86,000～87,000円。

【東商取先物】当限を対象とした取引では、ガソリンが前日から横ばいの86,000円、出来高はゼロ、クラックスプレッドは同1,050円安の16,170円。灯油は同横ばいの88,000円、出来高はゼロ、クラックスプレッドは同1,050円安の18,170円。軽油は同300円高の90,300円、クラックスプレッドは同750円安の20,470円。

◎マーケットニュース

○全漁連=3月前半の系統向けA重油価格、前期比引き上げ

全国漁業協同組合連合会(全漁連)は3月前半の系統向けA重油価格を前期比で1.4円引き上げると通知した。全漁連は2022年4月分から政府の燃料油補助金額を織り込んだ形で改定幅を会員に通知している。

○海上入札=東京海洋大の調査船ほか向けLSA重油、届け91円台で落札

東京海洋大学が28日に開札した3隻船向けLSA重油294klの入札は、届け91.6円でカメイが落札した。前期比で2.7円値下がり。応札業者2社だった。納期は3月25日まで。1月31日125klは、同社が届け94.3円で落札している。

○海上入札=海技教育機構の練習船向け3月納めLSA重油、カメイが落札

海技教育機構が28日に開札した海王丸向けLSA重油180klの入札は、届け89.3円で落札した。また、同日開札した青雲丸向けの入札は、届け88.6円でいずれもカメイが落札した。納期は3月8日。

○海上入札=八戸港向けLSA重油、届け113円台で落札

水産研究・教育機構が27日開札した八戸港向けLSA重油149klの入札は、届け113円で北日本石油が落札した。納期は3～5月。

○第二管区海保=青森港向け通期納めLSA重油、届け110円割れで落札

第二管区海上保安本部が27日開札した青森向けLSA重油213klの入札は、届け109円で北日本石油が落札した。前年比で21円値下がり。納期は4月～26年3月。2024年240klは、同社が届け130円で落札している。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発株に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

○[石油統計速報年1月] 製品需給概要=経産省

	生産	輸入	販売	輸出	月末在庫
ガソリン	3,680,688	270,888	3,351,204	502,126	1,836,749
（前年比）	99.8	89.4	98.3	129.2	102.7
ナ フ サ	1,072,884	2,090,585	2,997,376	5500	1,507,098
（前年比）	84.4	106.0	94.2	47.3	115.7
ジェット燃料油	788,178	39,977	361,667	643,156	647,487
（前年比）	86.2	－	93.6	101.5	91.0
灯　　油	1,365,789	458,944	1,967,359	－	1,994,004
（前年比）	106.7	119.9	102.4	－	98.2
軽　　油	2,829,550	94,793	2,334,998	526,883	1,465,492
（前年比）	95.3	139.9	99.8	123.4	95.6
Ａ 重 油	974,406	4,990	967,679	27,213	765,881
（前年比）	106	－	105.1	3961.1	108
ＢＣ重油	1,162,204	30,102	444,808	521,424	1,207,267
（前年比）	87.2	40.6	74.0	77.7	95.3
合計	11,873,699	2,990,279	12,425,091	2,226,302	9,423,978
（前年比）	96.0	106.8	97.4	104.4	100.8

(in kl)
下段は前年比%
*流通段階を除く

○財務省・貿易統計25年1月原油・石油製品輸出-速報値-

	25/1 数量 (kl)	25/1 単価 (円/kl)	単価 (ドル/bbl)	24/12 数量 (kl)	24/12 単価 (円/kl)
揮発油　（ガソリン）	346,454	84,196	85.06	277,973	79,244
（その他）	178,299	79,904	80.72	79,709	73,546
灯油	76,036	91,483	92.42	132,289	420
軽油	597,422	87,908	88.81	521,741	100,659
重油	325,267	73,052	73.80	373,340	70,528
--為替レート(円/ドル) (25/1)		157.37			
--換算値		6.29			

○財務省・貿易統計25年1月原油・石油製品輸入-速報値-

油　種	25/1 数量	（速報値） 単価		24/12 数量	（確報値） 単価
	VOLUME(KL)	YEN/KL	DLRS/BBL	VOLUME(KL)	YEN/KL
原油・粗油	12,952,189	75,728	76.58	14,257,639	73,361
リフォメート	－	－	－	－	－
ガソリン	268,535	84,996	85.96	291,184	80,974

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

ナフサ:石化用	1,922,722	72,001	72.81	1,805,710	71,359
ケロシン:ジェット	303,439	92,981	94.03	291,530	87,910
:石化用	-	-	-	-	-
:その他	356,082	96,367	97.46	423,346	90,386
ガスオイル:石化用	-	-	-	-	-
:その他	196,661	91,458	92.49	76,897	87,050
A重油農林漁業用(免税)	4,989	102,163	103.32	5,000	86,231
:S分0.3%以下	6,861	85,729	86.70	5,804	90,302
:S分0.3%超え	77	99,623	100.75	-	-
C重油:製油用	-	-	-	-	-
:S分0.3%以下	-	-	-	-	-
:S分0.3%超え	-	-	-	1	521,000
為替レート(円/ドル)	25/1	157.23			

(リフォメート:単価単位はMT、$/MT)

◎お知らせ

○リム創業40周年記念本『エネルギーの歩み』発売のお知らせ

リム情報開発株式会社は2024年2月、創業40周年を記念し、『エネルギーの歩み』を刊行いたしました。石油メジャーの誕生から脱炭素化に至るまで、エネルギーの歴史をわかりやすくひも解くとともに、リムならではの市況解説もふまえた充実の一冊です。原油、石油製品、LNG、LPGの貿易統計に加え、年表も資料として掲載しており、業務や勉強に幅広く利用していただけます。この機会にぜひお申し込みください。

定価：33,000円（税込）※送料が別途かかります。お申し込みは以下のリンクから(サンプルあり)。

https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/40book/

【お問い合わせ先】

リム情報開発株式会社／電話： 03-3552-2411／E-mail: info@rim-intelligence.co.jp

--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax:(81)3-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp Singapore--Tel (65)6345-9894 Beijing--Tel (86)10-8527-1630 Fax (86)10-6428-1725 Shanghai-Tel (86)21-5111-3575 Fax (86)21-5111-3576

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報を用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

[シンガポール支局] Tel: 65-6912-7359
e-mail:lim@rim-intelligence.co.jp
[北京支社] Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725
e-mail:guanhong@rimbj.com
[上海支社] Tel:(86)-21-6760-6330, e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2025 RIM INTELLIGENCE CO.

お申し込み ＞

試読 ＞

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。